

(第1報) ピリングの発生について

東京家政大学 木曾山かね

本郷 美枝

○小野 良子

多田 和子

赤池 照子

合成繊維を着用して生じるピリングについて、生産者の側に於いて相当に之を問題視しているが、私達使用者の立場より、此の合成繊維を如何に扱うかと云う事を本実験の目的とした。本実験に取扱った繊維の種類は、ポリアミド系繊維、アクリロ繊維、其の他各種ビニール系繊維とし、着用実験と並行し、各種の摩擦条件に於けるピリングの発生に就いて比較研究した結果を御報したいと思う。